



発行所 秋田魁新報社
秋田市山王臨海町1番1号
〒010-8601
©秋田魁新報社 2009年

号外

購読申し込み
0120-13-1231
ホームページ
www.sakigake.jp
携帯サイト
mobile.sakigake.jp

詳しくは「秋田魁新報」本紙、当社ホームページをご覧ください。

新型インフル 警戒水準5に

世界的大流行差し迫る

【ジュネーブ29日 共同】新型インフルエンザの拡大を受け、世界保健機関(WHO)は二十九日、世界的大流行(パンデミック)が「差し迫っている」と表明、

警戒水準(フェーズ)を現行の「4」から初の「5」に引き上げた。「5」はパンデミックに極めて近い状況。国際的な人の移動などの制限が一層強化され、経済、社会の各分野に深刻な影響が広がるのは必至だが、WHOは国際社会に強い警告を発する必要があると判断した。

WHOは警戒水準を二十七日に「3」から「4」に引き上げたばかり。わずかに二日間で再引き上げた。WHOは「パンデミックに発展すれば「人類全体が危機にさらされる」と強調。再引き上げたメキシコに加えて米国でも「地域レベルで持続的な人から人への感染」が確認されたためだと説明した。



29日、新型インフルエンザの流行拡大で、メキシコ市の地下鉄の駅をマスク姿で歩く市民 (AP=共同)

WHOは警戒水準を二十七日に「3」から「4」に引き上げたばかり。わずかに二日間で再引き上げた。

WHOは「パンデミックに発展すれば「人類全体が危機にさらされる」と強調。再引き上げたメキシコに加えて米国でも「地域レベルで持続的な人から人への感染」が確認されたためだと説明した。